

# Green Campus

2010.09.25  
43



発行：高崎商科大学 高崎商科大学大学院 高崎商科大学短期大学部  
〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町741 TEL (027) 347-3399(代) FAX (027) 347-3389 <http://www.tuc.ac.jp>

## 商学部 商学科を 6コースに再編

本学は、平成22年4月に、開学時の「流通情報学部・流通情報学科」を「商学部・商学科」に名称変更しました。その後も、社会や地域、学生のニーズに応えるためカリキュラム改革を進め、平成23年4月より、これまでの4コースを「流通・マーケティング」「情報・メディア・eビジネス」「経営・経済」「会計・金融」「観光・ホスピタリティ」「地域・国際・キャリア」の6コースに再編することとなりました。次の3点を柱としています。(1)これまでの「経営・会計」コースを分割し、企業経営全般に携わるジェネラリスト教育と、会計・金融・税務のスペシャリスト教育にそれぞれ特化します。(2)「地域・国際・キャリア」コースを新設し、ビジネス感覚とホスピタリティを持ち、地域づくり、人づくりに貢献できる人材を育成します。(3)他の3コースもさらに充実させます。

授業科目や教育スタッフの充実も図り、学びと進路の幅を大きく広げてゆきます。

「モノ」「情報」「組織」「お金」「ひと」「地域」の視点から多角的に「商業」にアプローチし、新しい実学教育を追求する高崎商科大学に、今後ご期待下さい。



▲ 6コース告知用ポスター

### 目次

- |  |  |
|--|--|
| 01 商学部 コース再編と新コース設置  | 03 公開講座 報告と今後の予定   |
| 02 空手道 県選手権 W優勝!!<br>選書ツアー開催<br>第2回 商経対抗空手道交流戦<br>ホスピタリティ心理教育学会 第1回全国大会<br>卒業生紹介コーナー | 04・05 平成21年度決算報告<br>06 教員紹介コーナー 服部勝人先生<br>07 キャリアサポート室から<br>内定者コメント<br>(早川佑二さん、間野恵未さん) |
| 03 入試情報 スカラシップ入試(3科目型)トライスタート<br>日商販売士検定1級試験合格                                       | 08 彩霞祭情報<br>同窓会情報  |

**空手道  
県選手権  
W優勝!!**  
Green Campus

5月22日(日)、ぐんま武道館で行われた第45回群馬県空手道選手権大会(国体予選)にて本学の久保真理亜さん(流通情報学部3年)が女子形の部で優勝、坂本麻代さん(流通情報学部2年)が女子組手の部で優勝しました。本学の学生が女子全種目において、群馬県の頂点に輝きました。おめでとうございます。



坂本麻代さん(左)

久保真理亜さん(右)

**選書  
ツアー**  
Green Campus

6月19日(土)に第1回選書ツアーが開催されました。選書ツアーとは、学生自身が図書館に所蔵してほしい本を選ぶというツアーで今回、大学・短大部合わせて14名の学生とメディアセンター運営委員6名が参加しました。紀伊國屋書店 新宿南店を訪問し、およそ2時間かけて興味のある本を選びました。今回選書した本から既に図書館に所蔵してある本を除き、計338



選書ツアー参加者(紀伊國屋書店前にて)

冊の本が承認されました。学生、利用者という目線の近い人たちが選んだ親しみの持てる本が沢山あります。ぜひ読んでみてください。また今回、同ツアーを企画したメディアセンターは、今後も継続して開催する予定です。学生のみなさんは、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

**第2回  
商経対抗  
空手道  
交流大会  
(商経戦)  
開催!!**  
Green Campus

9月18日(土)本学体育館にて、『第2回商経対抗空手道交流大会(商経戦)』が開催されました。大会は、空手道の普及と高次の交流、連携の強化を目的に本学と高崎経済大学空手道部に加え、それぞれの附属高校空手道部も参加し、商経戦ならではの男女混合団体形や高大連携男女混合形といった他では見られない演武も披露されました。その他、大会では組手競技もおこなわれ、迫力ある演武と気迫のこもった技の攻防で観戦にきた地域住民や他校生徒を魅了していました。

大会後、本学空手道部の澤木主将は「両大学、附属高校の関係者の皆様、審判の方々のおかげで第2回大会も盛大に終えることができました。本当にありがとうございました。」とコメントしました。



商科大空手道部主将 澤木龍誠選手(左)

高経大空手道部主将 新井清義選手(右)

**ホスピタリティ  
心理教育学会  
第1回全国大会**  
Green Campus

6月27日(日)にホスピタリティ心理教育学会(2009年大学内に事務局を設置)が第1回の全国大会を学内で開催しました。大会には、服部ゼミのゼミ生20名、淵上ゼミから1名のホスピタリティ学と心理学に大きな関心を寄せる有志が参加しました。本部事務局スタッフとして、受付や会場整備などをサポートし、大会の円滑な進行に大きな力を発揮しました。さらに、下記の流通情報学部4年の6名は、初めての学会研究発表にも挑みました。日ごろから関心を寄せていた事柄をホスピタリティ心理学の見地から、論理的な研究に発展・探求しました。



発表する学生

発表者及び研究発表テーマ	1	林 祥之 「首都圏鉄道会社の朝ラッシュ時間帯で遅れさせない工夫について一定時制を保つための要因、要素一」
	2	岡本 千秋 「携帯電話の普及が及ぼす人間関係への影響」
	3	田村留実子 「良いサービスを受けるための顧客行動」
	4	玉田麻奈美 「電車内でのマナーホスピタリティー捨てる側の心理とゴミへの対応について」
	5	岡田 舞 「演劇における演技者と観客との相乗効果性についての考察」
	6	青木 智也 「ワタミのホスピタリティについてー卓のサービスとホスピタリティの事例ー」

**卒業生  
紹介  
コーナー  
同期入社2人が  
全国で活躍!!**

群馬県に本社を構える富士スバル株式会社に同期入社した増川智久さん(流通情報学部2007年度卒)と大橋良平さん(流通情報学部2007年度卒)が入社後のそれぞれの活躍を評価され、表彰を受けました。増川さんは全国スバルセールスコンテストで優秀賞(4位)に入賞。同コンテストは、全国にある各販売店から選出された営業マンが販売のロールプレイングを行い、商談力を競うもので、増川さんは北関東から2名のみが代表として選出されるという狭き門を突破し出場しました。コンテストは5月14日(金)スバルアカデミー(東京都八王子市)にて開催され、全国各ブロックを勝ち抜いた代表20名が出場し、増川さんは持ち前の明るさと笑顔で4位に入賞しました。今回の入賞は、富士スバルで初めての快挙でした。受賞について増川さんは「ロールプレイングで学んだことを活かして実際の営業でも認められるよ

うに頑張りたい」とコメントしています。また大橋さんは、昨年1年間のセールス実績が全国で5番手につけるなど優秀な成績であったことが評価され「優秀セールスマン賞」に輝き、社内表彰を受けました。この賞は全セールスマン対象で入社2年目(現在3年目)での受賞は、大橋さんのみでした。また大橋さんは、全国のスバル販売店の新人で最も多い台数を売り上げ「新人賞」も受賞しました。大橋さんは、今回のW受賞について「過去の自分に負けないように1年1年を大事に成長していきたい」とコメントしています。二人から報告を受けた淵上勇次郎学長と森本淳法人本部長は「卒業生が活躍してくれるのは非常に喜ばしい。今後も後輩の良き励みとなるようにますますのご活躍を期待しております。」とコメントされました。



母校へ受賞の報告にきた増川さん(右)と大橋さん(左)▲

入試情報

# スカラシップ入試3科目型「トライ」スタート!!

Point 1

## 合格者は一般特待生制度の候補者に!

スカラシップ入試3科目型「トライ」(選考方法:国語+英語+選択1科目の計3科目、300点満点)合格者は、一般特待生候補者となります。目安として得点が65%を上回った中から一般特待生(A・B・C)が適用となり、初年度について、入学金や授業料が免除されます。

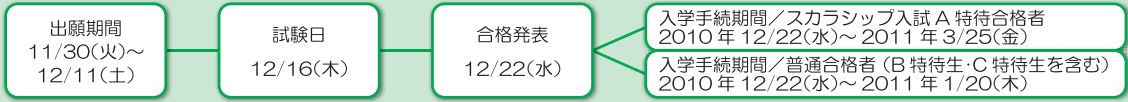
Point 2

## A特待生合格者は入学金と初年度授業料が全額免除! さらに入学手続期間延長により国公立大学との併願が可能に!

A特待生合格者は、入学金(25万円)や初年度授業料(69万6千円)が全額免除に加えて入学手続期間延長の特典が与えられます。

◆一般特待生制度(スカラシップ入試3科目型)※短期大学部の免除額は異なります

区分	特典
A特待生	入学金(25万円)免除 及び 初年度授業料全額(69.6万円)免除 + 手続期間延長(2010年12/22~2011年3/25)
B特待生	入学金(25万円)免除 及び 初年度授業料半額(34.8万円)免除
C特待生	入学金(25万円)免除



日商販売士  
検定1級  
試験合格  
Green Campus



この3月に本学流通情報学部を卒業した橋本拓史さん(現在、群馬県内を中心にスーパーマーケットをチェーン展開する株式会社フレッセイ勤務)が、今年2月に行われた、第37回日商販売士検定1級試験に見事合格され、4月23日に学長表彰を受けました。販売士検定1級試験は、大規模小売店の店長や部長クラス、中小小売業の経営者クラスが対象で今回の合格率も16.9%(日本商工会議所ホームページより)と難関でした。本学では、過去在学中の1級合格者を2名出しており、今回3人目の合格者となりました。橋本さんは、今回の合格について「独学でも一日10時間近くコツコツ勉強し、その努力が実って嬉しい、現在の業務でも活かしていきたい。」とコメントしておりました。

公開講座  
報告  
Green Campus

6月19日(土)に平成22年度前期公開講座として、「大人の時代の海外旅行 ~アクティブシニアの地球の歩き方~」が開催されました。北欧の専門旅行会社の株式会社フィンコーポレーションから講師をお招きし、講師自身も参加している全行程およそ

110kmにも及ぶトレッキングレースの話を中心に北欧の魅力が話されました。聴講者は、一般の方が中心となり、延べ40名以上の方が受講されました。その他、5月から6月にかけて「旅行韓国語会話」(全5回)、7月には「子育て支援セミナー ~子供とどう接する?~」、8月には「商大シネマ カールじいさんと空飛ぶ家」、「やさしい囲碁講座 ~初歩の初歩~」(全4回)が開催されました。今後の平成22年度公開講座は下記を予定しております。学生の皆さんや卒業生も聴講可能となっておりますので、ぜひご参加下さい。



商大シネマ



やさしい囲碁講座



大人の時代の海外旅行



子育て支援セミナー

◆今後の公開講座・特別講演情報

◎「今どきのプライダグ ~家族の絆~」  
日程: 10月2日(土) 13:30~15:00  
参加費: 無料  
講師: 小泉裕美 先生  
(㈱ライフシステム取締役冠婚部長)

ネットビジネス研究所主催特別講演

◎「地域活性化に向けて」

日程: 10月23日(土) 14:00~16:15  
参加費: 無料

講師: 第1部「高崎商業の特質を考える」  
田村信文先生(中小企業診断士  
インキュベーション・マネジャー)  
第2部「世界金融危機と東アジア」  
笠井信幸先生(アジア経済文化研究所  
理事・首席研究員)

◎「がんばりすぎない介護のすすめ  
~介護サービスの上手な使い方と自宅で  
できる介護技術~」

日程: 10月30日(土) 13:30~15:00  
定員: 30名 参加費: 無料  
講師: 今井愛子先生(社会福祉法人恵済会  
錦泉苑居宅介護支援事業所管理者)  
島尻賢伸先生(社会福祉法人恵済会  
特別養護老人ホーム錦泉苑 介護副主任)

◎「PC入門講座(全3回)」

日程: 11月20日(土)・11月27日(土)  
12月4日(土)  
全日程13:30~15:00  
定員: 50名 参加費: 500円  
講師: 竹上 健先生(高崎商科大学 准教授)  
倉林 有先生(高崎商科大学 専任講師)

◎「生活習慣病対策講座」

日程: 平成23年1月22日(土)  
13:30~15:00

参加費: 無料  
講師: 鈴木昭彦先生(高崎商科大学 教授)

◎「資産運用講座(全3回)」

日程: 平成23年1月29日(土)・  
2月5日(土)・2月12日(土)  
全日程13:30~15:00

参加費: 無料  
講師: 長屋嘉浩先生(野村證券㈱)フィナン  
シャルアドバイザー(課長)

※講師・内容など、都合により変更となる可能性  
があります。詳細は本学ホームページ「公開講  
座」をご覧ください。



# 平成21年度決算について

学校法人 高崎商科大学

平成21年度決算につきまして、平成22年5月28日に開催されました理事会にて承認され、評議員会に報告されましたのでここに掲載致します。

現在本法人は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（過去2カ年基準）」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き正常状態に位置しています。今後共更にこの健全な経営状態を保つべく努力し続ける所存です。

尚、本法人では財務関係書類の閲覧及び交付による情報公開を行っており、各事業所内の所定の位置で閲覧が出来ます。（当該法人の設置する各学校に在学する者と他の利害関係人を対象とします。）

## ①資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにするためのものです。

平成21年度の資金収支状況について、予算と比較すると補助金収入、資産売却収入、事業収入及び雑収入がそれぞれ増加したことで、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄附金収入、資産運用収入及び前受金収入の額が減少したものの、収入合計は決算額が予算額を26,319千円上回ることとなりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次期繰越支払資金は1億6,137万円増加し、18億9,435万円となりました。

## 資 金 収 支 計 算 書

(単位：円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,560,975,080	1,536,006,130	24,968,950	人件費支出	1,209,273,434	1,203,116,069	6,157,365
手数料収入	50,574,110	50,184,750	389,360	教育研究経費支出	419,384,480	398,901,970	20,482,510
寄附金収入	15,663,950	15,563,950	100,000	管理経費支出	151,465,814	137,802,348	13,663,466
補助金収入	510,589,000	520,574,484	△9,985,484	借入金等利息支出	6,368,037	6,368,037	0
資産運用収入	23,698,000	22,784,465	913,535	借入金等返済支出	42,231,975	42,231,975	0
資産売却収入	102,488,268	202,488,268	△100,000,000	施設関係支出	224,180,000	213,493,740	10,686,260
事業収入	11,962,442	12,976,110	△1,013,668	設備関係支出	75,550,000	55,432,189	20,117,811
雑収入	42,629,400	42,959,968	△330,568	資産運用支出	154,700,000	154,700,000	0
前受金収入	302,899,000	273,935,500	28,963,500	その他の支出	37,439,086	36,167,040	1,272,046
その他の収入	57,863,469	51,779,125	6,084,344	〔予備費〕	51,219,006		51,219,006
資金収入調整勘定	△326,800,400	△350,391,170	23,590,770	資金支出調整勘定	△1,883,710	△13,331,119	11,447,409
前年度繰越支払資金	1,750,375,537	1,750,375,537		次年度繰越支払資金	1,732,989,734	1,894,354,868	△161,365,134
収入の部合計	4,102,917,856	4,129,237,117	△26,319,261	支出の部合計	4,102,917,856	4,129,237,117	△26,319,261

## ②消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入（学校法人の負債とされない収入）から、基本金に組み入れる額を控除して算出した【消費収入】と、資金支出を伴う費用と資金の移動を伴わない費用（退職給与引当金、減価償却費、資産処分差額など）を集計した【消費支出】の差し引き結果を記載します。消費収入が消費支出を超えれば「消費収入超過」であり、消費支出が消費収入を超えれば「消費支出超過」となりますので、消費収入と消費支出の内容と均衡の状態を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が把握出来ます。（企業会計の損益計算書に類似しておりますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成21年度帰属収入合計は、予算22億2,895万円に対し、1,098万円増の22億1,796万円です。これから基本金組入額2億8,781万円を差し引いた本年度の消費収入は、予算19億5,408万円に対し2,393万円減の19億3,015万円でした。

これに対して消費支出は、予算19億4,849万円に対し3,851万円減の19億0,998万円でした。

この結果、平成21年度の消費収支差額は2,017万円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額5,729万円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は7,746万円となりました。

尚、基本金の取崩しについては、学校法人会計基準の一部改正（平成17年5月13日付け文科省通知）により経営の

合理化、将来計画の見直しを行った場合にも、基本金の取崩しが出来ることとなり、この改正に則した会計処理を行うこととなっておりますが、今年度は取崩対象額がありませんでした。

## 消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,560,975,080	1,536,006,130	24,968,950	人件費	1,216,293,160	1,210,135,795	6,157,365
手数料	50,574,110	50,184,750	389,360	教育研究経費	554,043,298	537,702,651	16,340,647
寄附金	26,763,950	28,233,057	△1,469,107	管理経費	160,132,739	145,100,758	15,031,981
補助金	510,589,000	520,574,484	△9,985,484	借入金等利息	6,368,037	6,368,037	0
資産運用収入	23,698,000	22,784,465	913,535	資産処分差額	1,061,034	1,061,034	0
資産売却差額	0	2,488,268	△2,488,268	徴収不能額	9,614,000	9,614,000	0
事業収入	11,962,442	12,976,110	△1,013,668	〔予備費〕	980,154		980,154
雑収入	44,383,665	44,714,233	△330,568	消費支出の部合計	1,948,492,422	1,909,982,275	38,510,147
帰属収入合計	2,228,946,247	2,217,961,497	10,984,750	当年度消費収入超過額	5,591,505	20,166,946	
基本金組入額合計	△274,862,320	△287,812,276	12,949,956	前年度繰越消費収入超過額	57,295,539	57,295,539	
消費収入の部合計	1,954,083,927	1,930,149,221	23,934,706	翌年度繰越消費収入超過額	62,887,044	77,462,485	

## ③貸借対照表

平成21年度末の資産総額は90億9,058万円で、前年度に比べ2億6,391万円増加しました。また、負債総額は7億9,794万円で、前年度の比べ4,407万円減少しました。

資産の部は、固定資産が71億1,325万円で、前年度に比べ8,908万円増であり、流動資産が19億7,733万円で、前年度に比べ1億7,483万円増加しました。

負債の部は、固定負債が4億3,150万円で、前年度に比べ3,222万円の減少と流動負債が3億6,644万円で、前年度に比べ1,185万円の減少です。基本金の部は、合計で82億1,517万円となり、2億8,781万円の増加でした。

この結果、繰越消費収支差額は7,746万円の収入超過となりました。

## 貸借対照表

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,113,246,476	7,024,162,294	89,084,182	固定負債	431,499,298	463,718,411	△32,219,113
有形固定資産	5,983,197,457	5,848,799,981	134,397,476	長期借入金	314,825,318	357,170,657	△42,345,339
土地	2,470,350,469	2,344,343,421	126,007,048	退職給与引当金	111,813,215	106,547,754	5,265,461
建物	2,850,195,931	2,855,762,401	△5,566,470	流動負債	366,443,534	378,291,456	△11,847,922
建物附属設備	92,504,028	102,079,161	△9,575,133	短期借入金	42,345,339	42,231,975	113,364
構築物	129,364,762	123,113,287	6,251,475	前受金	273,935,500	290,331,000	△16,395,500
教育研究用機器備品	103,561,712	88,495,505	15,066,207	その他	50,162,695	45,728,481	4,434,214
その他の機器備品	9,829,953	11,824,472	△1,994,519	負債の部合計	797,942,832	842,009,867	△44,067,035
図書	325,568,196	320,342,466	5,225,730	基本金の部			
車輛	1,822,406	2,839,268	△1,016,862	科目	本年度末	前年度末	増減
その他の固定資産	1,130,049,019	1,175,362,313	△45,313,294	第1号基本金	8,026,236,699	7,741,424,423	284,812,276
有価証券	907,487,000	957,487,000	△50,000,000	第3号基本金	46,936,631	45,936,631	1,000,000
退職金引当預金	147,000,000	147,000,000	0	第4号基本金	142,000,000	140,000,000	2,000,000
第3号基本金引当資金	46,936,631	45,936,631	1,000,000	基本金の部合計	8,215,173,330	7,927,361,054	287,812,276
特定支出引当特定預金	12,050,000	8,350,000	3,700,000	消費収支差額の部			
その他	16,575,388	16,588,682	△13,294	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	1,977,332,171	1,802,504,166	174,828,005	翌年度繰越消費収入超過額	77,462,485	57,295,539	20,166,946
現金・預金	1,894,354,868	1,750,375,537	143,979,331	消費収支差額の部合計	77,462,485	57,295,539	20,166,946
その他	82,977,303	52,128,629	30,848,674	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	9,090,578,647	8,826,666,460	263,912,187	負債の部、基本金の部、 及び消費収支差額の部合計	9,090,578,647	8,826,666,460	263,912,187

# 教員紹介コーナー

高崎商科大学商学部 特任教授 服部 勝人 先生

## プロフィール

1943年生まれ。東京都出身。東洋大学国際地域学部・東洋大学大学院国際地域学研究所の教授を経て、現職となる。法政大学経営学部卒業後に株式会社日本コンサルタント・グループに入社。業界視察及び研修ツアー・コーディネーター・通訳として800回余に及ぶ海外を経験する。



1974年以降、経営コンサルタント（ブレイン・トラスター）としてトップ・マネジメントの企業戦略を指導。1990年より「ホスピタリティ」の研究者として数々の学術論文を発表している。講演および研修は、経営全般・医療・福祉・教育・行政・観光・ホテル・プライダグ・テーマパーク・まちづくり等幅広い分野でホスピタリティ・マネジメントの重要性を説いている。

### <専門分野>

ホスピタリティ学、ホスピタリティ・マネジメント学、ホスピタリティ実践学

### <教職（兼任講師）>

法政大学 現代福祉学部、高崎経済大学 地域政策学部、東京都立世田谷総合高等学校

### <所属団体>

日本ホスピタリティ・マネジメント学会 名誉会長、ホスピタリティ心理教育学会 会長、日本経営学会、日本経営教育学会、日本地域政策学会、日本フードサービス学会、企業家研究フォーラム、(社)日本ペンクラブ、(社)通信研究会、日本不老協会 顧問、特定非営利活動法人日本ホスピタリティ推進協会 理事（日本ホスピタリティ教育機構 プロジェクトリーダー）、株式会社CEG 取締役会長

### <その他>

創造的問題解決戦略機関及び広い範囲にわたるホスピタリティの研究機関・情報発信基地である ホスピタリティ総合研究所の所長としても活躍中。

## ゼミ活動

～学生に実践教育の場提供"社会への適応力"取得～

私のゼミ運営の基本は全員参加であり、「自分達のゼミは自分達で創る」をモットーとしている。ゼミ生全員に役割を決め、その仕事に対して役割の意味と責任感を身につけることを目的としている。組織構成はゼミ長、副ゼミ長、事務、フィールドワーク、合宿、海外研修、文書管理の各係りで成り立っている。それぞれ自分の就

いた役割によって学ぶことは異なるが、組織運営の難しさと同時に協力の必要性をゼミ生全員が学ぶ事が出来る。また、組織の中で自分の意見をしっかり発言することと、他人のために何かを行うことの大切さを学んでいる。

私の全ての授業は、就職を意識した実践学になっている。まず、それぞれの授業に合った新聞記事を取り上げ、各業界の現状を把握するための時間をとっている。これは業界の動向や流れを理解し、就職先の選択に役立てている。また、毎回の授業レポート（全て手書き）提出を義務づけ、評価点及びコメントをつけて返している。パソコンの作業は記憶に留まらないが、手書きすることで思考力と表現力がつき、就職における小論文の訓練になっている。そして、目標に向かってやりとげるために、知性・感性・理性・悟性をバランスよく身につけるための意志力の訓練も行っている。

ゼミ活動の大きな特徴に、フィールドワーク、合宿、海外研修などの課外授業を通じた自立と連携の重要性を実体験するための活動がある。学生は非常に大変だが、自分の目指す仕事に就くために必要なことを考え、学び、行動することで実践力を養っている。こうした実践教育は、社会に入ったときに役立つ。就職先に関しては、学生の志望している業種・業態へ企業訪問を積極的に行わせ、職業に対する視野を広げる指導をしている。

ゼミの授業では、学生は何を学ばよいか、また何を学ぶ必要があるかを学生同士で相談してゼミ授業の内容を決めて勉強している。これらのことから、学生は就職先を明確にして、自分に合った仕事に向けて何を身につけるべきかを実感しているのである。

また、研究室を事務所代わりにして、実際の会社のように使用し、常備されている書籍・資料などを参考に、自分達の書類作成をする。時には、資料のファイリングも学生が行う。研究室の中とはいえ、知識を蓄え、思考を凝らしていくことができる。学生のうちから基礎をしっかり作ることで、社会に出てもすぐに適応出来るように自分達で環境を整えている。私の役目は、学生がやりたいことに取り組んでいけるように出来る限りのバックアップをすることである。ゼミ活動の場で、なりたい自分になるために、今やらなくてはならないことを意識した社会のシミュレーションを実施している。

就職先で新入社員研修も必要ないといわれているくらい基礎が身についた私の教え子もいるように、就職したら次の日から即戦力になることを目指している。

私の学術的研究分野は「ホスピタリティ」「ホスピタリティ・マネジメント」である。ゼミ活動を通して、人との関わりにおける「ホスピタリティ」の実践によって、人間性の豊かさを多くの学生に学んでもらいたいと切望している。



# キャリア サポート室から

## ■ 大学院2年生、大学4年生、 短大2年生へ

いよいよ年度後半となり、後期授業も9月16日から開始となりました。

さて、大学4年生・短大2年生の就職活動状況は、一昨年から経済・雇用情勢の悪化が依然尾を引いており、昨年度のペースと同等、もしくは下回っているのが現状です。企業側が求める能力がコミュニケーション能力や自主性、人柄に傾いているのは近年の大きな特徴であると言えます。

無事内定を獲得し、就職活動を終えた学生は残りの学生生活を有意義に過ごして下さい。また、まだ就職が決まらなく現在も活動中である学生は、職種や業種、勤務地等に幅を持たせ、**決して諦めずに継続**して下さい。内定辞退を回避するために、遅い時期での採用活動を実施する企業や**秋採用**に乗り出す企業も多くあります。但し、秋採用は1日で筆記・面接試験を行うなど、採用スケジュールが過密になる可能性が高いです。大変だとは思いますが、しっかりと事前の準備をし、十分に力が発揮できる環境を作って下さい。

## 内定者コメント

### 『たくさんの人に巡り会えた就職活動』

早川 佑二さん (高崎商科大学4年)  
内定先：(株)ケーズホールディングス



私が就職活動を始めたきっかけとなったのは、昨年の先輩の就職活動の様子を聞き、大変苦戦している姿を知り、できるだけ早めに動いておこうと思い、3年生の9月頃から積極的に合同説明会に参加しました。

初めのうちは地元群馬県で開催されていた説明会に参加しても自分が働きたい業種が定まらず、年をまたいで3月頃には東京や埼玉など地方の説明会にも足を運ぶようになりました。これまでに参加した企業数は約20社。しかし自分の希望している企業とは巡り合う事が出来ず、このままでは就職はおろか、採用試験も受けることが出来ないのではないかという不安ばかりが膨らんでいきました。それでもめげずに合同説明会に参加していると試験を受けてみたいと思える企業が増えていきました。それからは、採用試験を受けるにあたり、キャリアサポート室に足を運び、履歴書の志望動機や自己PRの有効的な書き方、面接を受ける上での心構えなどを教えていただきました。その頃には自信をもって試験に臨めるようになり結果、私は5社目にして、志望していた株式会社ケーズホールディングス(ケーズデンキ)から5月中旬に初めて内定を頂く事が出来ました。

今回の内定が決まるまで、キャリアサポート室の皆さま、事務局の青木さん、両親やサークルの先輩、友達、アルバイト先の店長など私はたくさんの方々に支えられて今があると実感しています。来年4月からは社会人となりますが、初心を忘れず、企業に貢献出来る人間になりたいと思います。本当にありがとうございました。

## ■ 大学院1年生、大学3年生、 短大1年生へ

さあ皆さん、後期が始まるといよいよ本格的に就職活動が始まります。キャリアサポート室では後期全12回の就職活動支援講座や、学内個別・合同企業説明会など多くの支援プログラムを用意しています。

皆さんもご存知だとは思いますが、今年度は昨年度と比較しても非常に厳しい買手市場です。それに伴い採用試験のハードルは確実に上がっています。そのような中で内定を獲得するためには、まず**早い時期から就職を意識し、動き出すこと**です。

また、是非意識して頂きたいことですが、「**当たり前前**の**ことが出来る**」こと。例えば**挨拶**です。採用試験の時だけやればいいという学生もいますが、日頃からやっていないことは出来ません。また相手に聞こえない挨拶は挨拶と呼ばれません。当然のことではありますが、相手の目を見てはっきりと笑顔で挨拶を日常から実行する努力をして下さい。企業の人事担当者はそういったところまで見ています。

最近是非正規雇用体制が多く見られるようになり、卒業後フリーターになることにあまり抵抗を感じないかも知れませんが、新卒一括採用を行っている日本では、フリーターから正社員になるのは大変厳しいのが現状です。皆さんには是非**正社員にこだわって**もらいたいと考えています。

キャリアサポート室の職員は全力で皆さんを支援しますので、有効に使って就職活動を進めましょう。

### 『得るものが多かった就職活動』

間野 恵未さん (高崎商科大学短期大学部2年)  
内定先：株式会社北越銀行



私が就職活動を開始したのは、昨年(短大1年)の10月頃です。地元である新潟にUターンしようと考えていたこともあり、早期に就職活動を意識し行動を始めました。

就職活動を始めてから、毎週のように合同企業説明会に参加しました。私は、HPや資料を見ているのが苦手だったので、人事の方に直接会って、会社概要や社風について何うよう心がけました。そして、興味を持った企業のブースに何回も足を運び、選考に臨みました。

採用試験を受験するにあたり、1番最初の壁は履歴書とエントリーシートでした。何を書いているのか悩んでいるうちに提出期限が近づき、焦ったことを今でも覚えています。そこで、キャリアサポート室で履歴書の書き方について相談すると、スラスラと書いて驚きました。また、履歴書の書き方だけでなく、面接練習もしていただき、本番では自分の個性を出すことができました。

就職活動は、自分の将来を真剣に考えるきっかけになると思います。かまず、息抜きをしながら、自分のペースで頑張ってください。

最後に内定をいただけたのは、私一人の力だけではありませぬ。友人や家族、先生やキャリアサポート室など多くの方のご協力のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、4月からは社会人として日々精進していきます。

# ◆ 彩霞祭情報 ◆

第21回彩霞祭ポスター▶

## 10月23日(土)

10:15~11:00 HONESTY (ハモネブ)  
 11:15~11:45 Saika Wind Ensemble  
 12:00~13:00 もーっとアイドル☆マスター  
 13:30~14:30 マジックショー  
 14:00~14:55 FMぐんま公開ラジオ  
 15:00~16:00 脳トレ☆ミュ〜ジック♪

## 10月24日(日)

10:30~11:00 フラダンス  
 11:30~12:30 Mix-juice  
 12:30~13:00 和太鼓「ひびき」  
 12:40~12:50 Bear's (ダンス)  
 13:00~14:00 探って取り出し! Black Box  
 14:30~15:30 重低音ライブ  
 15:30~18:00 芸能人ライブ

### 両日開催

10:00~15:00 チャリティーパザー  
 10:00~16:00 BAN☆GO! GO! ぱん☆ごー! ごー!  
 10:00~16:00 おまつり広場

**イベントスケジュール  
 は予告なく変更になる  
 場合がありますので  
 ご了承ください**



## SAIKA MUSIC LIVE!! 10/24 15:30~18:00



### シンガーソングライター 加藤ミリヤ

※当日チケットは販売致しません。事前申し込みをされた方のみ入場可。詳しくは彩霞祭ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

彩霞祭実行委員会実行委員室ダイヤルイン  
 TEL (027) 347-9343

彩霞祭公式HP(PC)

<http://saika.shouka.info/>

E-mail:saikasai-sogo@shouka.info



# ◆ 同窓会情報 ◆

みなさんこんにちは。今年も全国的な異常気象（とにかく暑すぎる、雨が多すぎる）や経済、政治と本当におかしな世の中になってしまったという感じがしています。円高による輸出産業の大打撃（輸入産業はホクホク）。



同窓会長 程塚 守 さん

本当に景気は回復するのか。温暖化は少しでもやわらげるのか、政治は変わるのか、小遣いは減らされずにすむのかと不安な気持ちで一杯なのは私だけではないでしょう。

さて同窓会ではOB、OGの方たちに同窓会活動に少しでも参加していただけるよういろいろと考えてきました。ただ会議や総会に参加しろといわれても行きづらいというのが本音だと思います。少し遊びの部分の創れたら皆さんも参加しやすいのではないかと思います。昨年同窓会主催でゴルフコンペを開催しました。第2回同窓会長杯ゴルフコンペを好評につき今年も11月14日(日)に吉井町の吉井南陽台ゴルフコースで開催致します。今年も昨年同様男女問わずふるってご参加のほどお願い致します。詳細は右記に記載されております。詳しいことは事務局までお問い合わせ下さい。

また今年も昨年同様10月の彩霞祭では、同窓会で展示コーナーを設ける事になりました。第1期生からの写真や卒業アルバムを展示する予定になっております。

そしてその彩霞祭の第1日目である10月23日(土)の午後7時半よりホテルメトロポリタン高崎(高崎駅ビル)で高崎商科大学、短期大学部のホームカミング(同窓会のようなイベント)を開催致します。今年で高崎商科大

学(4年制)開学10周年を迎えました。1期、2期に卒業されている方はもう30歳を超えて、男性は仕事もだんだんと中核を任せられ忙しい日々を追われ、女性は結婚され育児に追われ旧友との距離も遠くなっていることでしょうか。これを機にまた再会されてはいかがでしょう!お子様のいる方も安心して参加していただけるようキッズコーナーも設置して担当の係も配置致します。ふるってご参加下さい。昼は学園祭、夕方からはホームカミング!充実した1日を送れることは間違いなしです!

お子様のいる方は是非ご家族でお越し下さい。詳細は下記の通りです。詳しいことは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。最後に、今後も同窓会をよろしくお願致します。

### □ ホームカミングデーのご案内

開催日: 2010年10月23日(土)午後7時半から(午後7時受付)  
 場所: ホテルメトロポリタン高崎  
 (高崎市八島町222 TEL:027-325-3311)  
 会費: 3,000円  
 申込方法: 同窓会事務局まで電話にてご連絡下さい。  
 (TEL: 027-347-3399 担当: 中村・藍)  
 尚、当日の参加も歓迎致します。

### □ 第2回 同窓会長杯ゴルフコンペのご案内

開催日: 2010年11月14日(日)午前8時35分スタート  
 場所: 吉井南陽台ゴルフコース  
 (高崎市吉井町南陽台1 TEL: 027-388-3111)  
 費用: 参加費/2,000円  
 プレー費/11,000円(昼食・1ドリンク込)  
 競技方法: 新ペリア方式  
 申込方法: 高崎商科大学事務局 中村康晴まで、電話・メールにて受け付けます。(TEL: 027-347-3399、  
 e-mail:y-nakamura@uv.tuc.ac.jp)